

情報公開文書

患者さんへ

「BMI および HbA1c 別糖尿病治療に関する研究」について

研究責任者: 屋宜宣治

(施設名) 医療法人かねや 屋宜内科医院

(名前) 屋宜宣治

【はじめに】

糖尿病治療は患者さんの病態や合併症、併存症に合わせた治療が必要とされています。食事や運動療法を行っても、目標の HbA1c に達成しなければ出来るだけ速やかに薬物療法を行う必要があります。血糖降下薬は大きく3つに分けられ、インスリン分泌非促進系の薬剤 4 種とインスリン分泌促進系薬剤 5 種、インスリンの中から選択され処方されます。

これらの血糖降下薬を糖尿病専門医がどのような患者さんに処方し、どのような結果となっているかを年齢、罹病期間、BMI、HbA1c、腎機能別に解析しています。2015 年より本研究は、糖尿病学会や欧米雑誌への発表を通して、患者さんの病態に合わせた血糖降下薬の選択に役立つ研究となっています。

【対象者】

2002 年より現在まで糖尿病データマネジメント研究会(JDDM)の先生方の医療機関に受診され、JDDM データベース CoDiC に登録された患者さんを対象としています。

【対象となる患者様にご協力いただきたいこと】

該当する患者様の診療情報を本研究に使わせていただくことです。使用する診療情報は、通常診療で得られたもののみであります。

【研究に用いる試料・情報の種類】

患者基本情報 年齢 性別 罹病年数 20歳時体重 過去最大体重

患者検査情報 体重 BMI 血圧 HbA1c値 空腹時血糖値 随時血糖値 総コレステロール値
HDLコレステロール値、中性脂肪値 LDLコレステロール値 eGFR値
血清クレアチニン値 尿素窒素値

糖尿病治療薬情報

インスリン、GLP-1受容体作動薬、GIP/GLP-1受容体作動薬、

ビグアナイド薬、スルホニル尿素薬、 α GI薬、グリニド薬、チアゾリジン薬、DPP4阻害薬、

SGLT2阻害薬、経口GLP1受容体作動薬、イメグリミン薬

併用薬情報

高血圧薬の使用 脂質改善薬の使用

合併症情報

網膜症、腎症、神経障害、末梢動脈変化、虚血性心疾患、脳梗塞の有無

【研究期間】

2002年 1 月 1 日から 2028年 12月 31日まで

【研究参加の辞退について】

CoDiCへのデータ提供拒否の申し出は、理由にかかわらず随時受け付け、診療録に記録を残すとともに、申し出に従い、今後データ収集は行わない旨、リーフレットを用いて説明する。ただし、既に解析担当者に提出されたデータに関しては、既に様々なプロトコルで研究が進行しているため、申出者のデータを削除することまではしない。

【研究の方法】

解析に用いるJDDM年データは各年度とも、HbA1cおよび血糖降下薬は、5月～7月までの最新受診日の結果を使用し、その他の検査結果値は各年度の1月～7月までの最新受診日の結果を用います。

I)年齢、II)BMI、III)HbA1c、IV)罹病年数、V)eGFR の違いにより、糖尿病専門医の血糖降下薬の処方に違いが無いか、臨床結果値に違いは無いか比較検討します。

(年齢は、①50歳未満、②50歳以上60歳未満、③60歳以上70歳未満、④70歳以上80歳未満、⑤80歳以上の5分類と0歳から100歳未満までの20分類)、(BMIは、①18.5未満、②18.5以上25未満、③25以上30未満、④30以上35未満、⑤35以上)、(HbA1cは、①6%未満、②6%以上7%未満、③7%以上8%未満、④8%以上10%未満、⑤10%以上)、(罹病年数は、①5年未満、②5年以上10年未満、③10年以上15年未満、④15年以上20年未満、⑤20年以上)、(eGFRは、①90以上、②60以上90未満、③45以上60未満、④30以上45未満、⑤15以上430未満、⑥15未満)

この、I)からV)の分類別に、各年度の、薬剤別使用割合、検査結果の比較と経年変化の比較を評価します。

【個人情報保護の方法】

CoDiC データベースから得られたデータは、氏名・住所等が削除され、施設名に新たなコード番号を付し(仮名化)、データ解析施設に送られる。施設コード番号の対応表は研究会事務局で保管される。解析実施責任者は解析データを適切に管理する。

(また、調査票/アンケート用紙については、個人を識別できる情報を収集せず、個人情報に配慮する。)

【研究終了後の情報・データの取り扱い】

研究終了日から5年間保存した後、事務局がシュレッダーにて廃棄します。研究データは引き続き匿名化した状態で保管します。

【研究成果の公表】

学会等での発表予定	学会名：日本糖尿病学会年次学術集会	発表時期：2026年5月
論文投稿の予定	雑誌名：日本糖尿病学会誌	投稿時期：2026年10月
JDDM会員向け発表(毎年2月)	発表時期：2026年2月	

【研究実施体制】

研究責任者名： 屋宜宣治

所属先： 医療法人かねや 屋宜内科医院

所属先役職： 院長

【問い合わせ窓口】

この研究についてのご質問やご自身・ご家族のデータが本研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合、あるいは、本研究への診療情報の使用について辞退されたい場合など、この研究に関することは、通院先の研究窓口担当者または下記の窓口までお問い合わせください。

○研究内容に関する問い合わせ窓口

一般社団法人 糖尿病データマネジメント研究会事務局

〒305-0812 茨城県つくば市東平塚 715-1

電話:029-852-1882 E-mail:info@jddm.jp